

### 【事例1】小学校

Aは小学校6年生男子児童である。図書委員会の活動中、委員会の作業をあまりしないで、同級生の男子児童B、Cと、しゃべったりふざけたりしていた。そこで、新任のX先生は、「どうして、今日は仕事をしないの。いつもは、やっているのに。ちゃんとやりなさい。」と注意した。いつもは、Y先生が主に委員会の指導をしており、児童Aたちはきちんと活動していた。X先生は、自分だと言うことを聞かない児童Aたちに困っていた。

しばらく様子を見ていたが、児童Aたちに変化は見られなかった。Y先生からは、今日中にやっておく作業内容を頼まれていて、このままでは、作業は終わりそうになかった。そこで、X先生は、児童Aたちに、「何回言わせるの。真面目にやりなさい。やらなかったら、Y先生に言うわよ。」と注意した。それに対し、児童Aたちが反抗的な態度を取ったので、X先生は、リーダー格である児童Aのところに行き、児童Aの頭をげんこつで1回叩いた。

(1) X先生のどのような行為が体罰や不適切な行為にあたるのでしょうか。

(2) X先生は、なぜ、体罰や不適切な行為を行ったのでしょうか。

(3) どのようにすれば体罰や不適切な行為を防ぐことができるのでしょうか。

※ 「体罰は、しない・させない」ようにするには、どのようにすればよいのでしょうか。

※ 「体罰は、必要ない」指導とはどのようなものなのでしょうか。

## 【事例2】小学校

Aは小学校4年生男子児童である。1時間目の算数でプリントが配られた。X先生は、「できた人から、前に出しましょう。」と伝えた。一番になることが大好きな児童Aは、それを聞いて頑張り出した。どうにかでき上がり、急いで前に出しに行ったところ、すでに男子児童Bが出していた。児童Aは、悔しさを紛らすために、独り言を言い出した。その声が大きくなってきたので、X先生は、「静かにしなさい。うるさくしたら、みんなに迷惑です。早く、自分の席に戻りなさい。」と、児童Aに注意した。児童Aが我慢して自分の席に戻ろうとしたとき、男子児童Cが自分を指さして笑っているように見えたので、児童Aは児童Cの頭を叩いた。それがきっかけで、児童Aと児童Cはケンカになり、その騒ぎに気付いたX先生は児童Aに、「こらっ。うるさくするわ、友達を叩いてケンカするわ、ダメじゃないか。早く、Cに謝りなさい。」と注意をした。しかし、児童Aはそっぽを向き、謝らなかったため、X先生は児童Aの手を持ち、児童Cの方に身体を向けようとした。そのとき、児童AはX先生の手を噛んだ。「痛い。そんな悪いことをするのは、この口か。」と、X先生は怒りながら、児童Aのあごを力を入れてつかんだ。児童Aは、この後、大声で泣き出した。

(1) X先生のどのような行為が体罰や不適切な行為にあたるのでしょうか。

(2) X先生は、なぜ、体罰や不適切な行為を行ったのでしょうか。

(3) どのようにすれば体罰や不適切な行為を防ぐことができるのでしょうか。

※ 「体罰は、しない・させない」ようにするには、どのようにすればよいのでしょうか。

※ 「体罰は、必要ない」指導とはどのようなものなのでしょうか。

### 【事例3】中学校

中学校に入学して6月に実施された宿泊訓練での出来事である。X先生は、採用2年目で、初めて学級担任を任された先生である。消灯時間が過ぎたにも関わらず、X先生が担任する男子生徒A、Bがいる部屋から喋り声が聞こえてきたので、X先生は静かに就寝するように口頭で注意を与えた。その30分後、Y先生が館内を巡回していると、先ほど指導を受けた生徒A、Bがいる部屋から再び話し声が聞こえてきたので、Y先生はX先生に「先生のクラスの部屋、まだ、騒いでますよ。他の部屋に迷惑です。」と告げた。X先生は、慌ててその部屋の前に行き、聞き耳を立てていると、「X先生は、ウザイ。」という声が聞こえてきた。その瞬間、X先生は部屋に入り、X先生の噂話をしていた生徒A、Bを理由も聞かずに一発ずつ平手で叩き、連帯責任として部屋の他の生徒も廊下に出し、一時間正座させた。

(1) X先生のどのような行為が体罰や不適切な行為にあたるのでしょうか。

(2) X先生は、なぜ、体罰や不適切な行為を行ったのでしょうか。

(3) どのようにすれば体罰や不適切な行為を防ぐことができるのでしょうか。

※ 「体罰は、しない・させない」ようにするには、どのようにすればよいのでしょうか。

※ 「体罰は、必要ない」指導とはどのようなものなのでしょうか。

#### 【事例4】中学校

中学校3年生の女子生徒Aは、ふだんから服装や頭髪で指導を受けている生徒で、教職員の指導にも反抗的な態度を取ることが多かった。他の生徒の進路の目標が決まっていく中、学習面に不安を感じている生徒Aだけが目標を決められずにいた。学級担任であるY先生との懇談で、生徒Aはまず授業を大切にしていくことを約束し、生徒Aの授業態度に少しずつ変化が見られるようになってきた。そんなとき、生徒Aのクラスが自習となり、ふだんから厳しい生徒指導をするという評判のX先生が自習監督を行うことになった。最初、静かに課題に取り組んでいた生徒Aだが、授業が半ばを過ぎた頃になると、隣の生徒と何やら話すようになった。その姿を見たX先生は、生徒Aが隣の生徒に迷惑をかけていると思い、理由も聞かずに、「他人に迷惑をかけるのだったら、教室を出て行け。」と、生徒Aの手を強く引っ張って、教室の外へ連れ出した。その際、生徒Aは転倒し、廊下で頭を打った。生徒Aは「二度と学校へ来ない。」という言葉を残し帰宅した。放課後、生徒Aの母親から、「やっと、やる気を出していたのに……。隣の子に質問をして、一方的に指導されるのはおかしい。これは、体罰だ。」という抗議の電話が入った。

(1) X先生のどのような行為が体罰や不適切な行為にあたるのでしょうか。

(2) X先生は、なぜ、体罰や不適切な行為を行ったのでしょうか。

(3) どのようにすれば体罰や不適切な行為を防ぐことができるのでしょうか。

※ 「体罰は、しない・させない」ようにするには、どのようにすればよいのでしょうか。

※ 「体罰は、必要ない」指導とはどのようなものなのでしょうか。

## 【事例5】高等学校

男子生徒Aは、授業中いつも落ち着きがなく、何度注意を受けても教員の指示に全く従おうとしなかった。ある日の授業で、生徒AはX先生に気付かれぬよう、前に座っている寡黙な男子生徒Bに対して、消しゴムのかすを投げつけたり、背中にシャープペンシルを押し当てるなどのちょっかいをかけた。我慢しかねた生徒Bは、突然立ち上がって、生徒Aの胸ぐらに掴みかかった。生徒Aも負けじと生徒Bに殴りかかろうとした。そのとき、すぐにX先生が間に入り、両者を引き離れた。興奮状態の生徒Aは、収まりがつかず、再度生徒Bを掴みにいこうとしたので、X先生は生徒Aを強く押し返した。その行為に、生徒Aは更に興奮し、今度は叫びながらX先生に向かってきた。そこでX先生は、生徒Aの顔を強めに一発殴った。ひるんだ生徒Aに対し、X先生は「頭を冷やせ。落ち着け。」と言って、駆けつけた他の先生の手を借り、生徒Aを別室へと連れて行った。

X先生は、落ち着きを取り戻した生徒Aに、「あの場面で、君を落ち着かせるためには、手を出さざるを得なかった。口で言って止められる状態ではなかったなので、強く叩いてしまった。申し訳ない。」と、謝罪した。その後、X先生はこのことを管理職にも生徒Aの保護者にも報告しなかった。

(1) X先生のどのような行為が体罰や不適切な行為にあたるのでしょうか。

(2) X先生は、なぜ、体罰や不適切な行為を行ったのでしょうか。

(3) どのようにすれば体罰や不適切な行為を防ぐことができるのでしょうか。

※ 「体罰は、しない・させない」ようにするには、どのようにすればよいのでしょうか。

※ 「体罰は、必要ない」指導とはどのようなものなのでしょうか。

## 【事例6】高等学校

Y先生の担任するHRは、活発で授業が進めやすいと評判であった。しかし、X先生の担当する数学の授業だけは私語が多くなり、大半の生徒が好きなことをやっている状態であった。特に、数学の苦手な生徒Aは、集中力を欠き、毎時間X先生から注意を受けていた。期末テストが迫ってきたある日、数学の授業中にいつもの調子で身勝手な発言を繰り返す生徒Aに対して、X先生が「静かにしろ。授業と関係のない発言をするな。」と怒鳴ると、生徒Aは「お前の教え方が悪いんじゃない。」と、反抗的な態度を取った。そこで、X先生は「生意気なことを言うな。」と、生徒Aの顔を平手で叩いた。

(1) X先生のどのような行為が体罰や不適切な行為にあたるのでしょうか。

(2) X先生は、なぜ、体罰や不適切な行為を行ったのでしょうか。

(3) どのようにすれば体罰や不適切な行為を防ぐことができるのでしょうか。

※ 「体罰は、しない・させない」ようにするには、どのようにすればよいのでしょうか。

※ 「体罰は、必要ない」指導とはどのようなものなのでしょうか。

## 【事例7】特別支援学校

Aは小学部5年生の男子児童である。絵本を読むことが好きで、一度読み出すと、他のことに注意を向けられなくなる傾向にある。

2時間目と3時間目の中休みの時間に、児童Aは絵本を読み始めた。3時間目のチャイムが鳴った後も、児童Aはまだ絵本を読んでいた。X先生は、児童Aが授業への気持ちの切り替えができるようにと、児童Aが読んでいた絵本を取り上げて本棚に戻し、授業を始めることを告げた。しかし、児童Aは、本棚に行って絵本を取り出して、その場で読み始めた。再度、X先生が絵本を取り上げて本棚に入れようとする、児童AはX先生から絵本を取り戻そうとした。X先生は、「やめなさい。」と注意するとともに、児童Aの頬をつねった。

(1) X先生のどのような行為が体罰や不適切な行為にあたるのでしょうか。

(2) X先生は、なぜ、体罰や不適切な行為を行ったのでしょうか。

(3) どのようにすれば体罰や不適切な行為を防ぐことができるのでしょうか。

※ 「体罰は、しない・させない」ようにするには、どのようにすればよいのでしょうか。

※ 「体罰は、必要ない」指導とはどのようなものなのでしょうか。

## 【事例8】部活動

男子バレーボール部のX先生は、部活動の指導に非常に熱心で、チームは県の大会でも常に上位まで勝ち進んでおり、数年前には全国大会に出場したこともあった。X先生の指導を受けるために入学してくる生徒も多く、生徒や保護者から信頼されていた。X先生は、強いチームをつくるためには、厳しい指導が必要だと考え、自分が学生時代に指導を受けていたように、試合に負けたときや生徒が気持ちの入らないプレーをしたときには、平手で叩くなどの罰を日常的に与えていた。生徒や保護者も、「レギュラーに入るためや強くなるためには、厳しい指導はやむを得ない。」と、X先生の指導に従っていた。

大切な大会直前の練習試合で、X先生の思い通りのゲームができず、チームは負けた。そこで、X先生は、大会に向けて気合いを入れ直すために、キャプテンである生徒Aを全員の前で、「お前がチームをまとめていないからだ。」と叱責し、平手で顔を数発叩いた。このときの暴力がもとで、生徒Aは右耳の鼓膜を破るケガを負った。

(1) X先生のどのような行為が体罰や不適切な行為にあたるのでしょうか。

(2) X先生は、なぜ、体罰や不適切な行為を行ったのでしょうか。

(3) どのようにすれば体罰や不適切な行為を防ぐことができるのでしょうか。

※ 「体罰は、しない・させない」ようにするには、どのようにすればよいのでしょうか。

※ 「体罰は、必要ない」指導とはどのようなものなのでしょうか。



## 【事例9】部活動

県中学校総合体育大会を2週間後に控えた夏の日差しが厳しいある日、生徒は練習に励んでいた。その最中、緩慢なプレーをする生徒Aがいたため、X先生は練習を中止し、生徒を集め、約10分間激しく怒鳴った。その後、X先生は選手に喝を入れるため、グラウンドを10周走るよう命じた。

グラウンドを走る練習で、いつも全力を出すことなく走る生徒Bがこの日もいつもと変わらない様子であったため、X先生は生徒Bが通り過ぎる際、椅子を生徒B付近にめがけて投げつけ、大きな声で叱責した。

グラウンドには、他の部活動を指導していた先生もおり、激しく罵倒するX先生の言動に気付いていた。

その翌日、他の部活動に参加する生徒の保護者から、X先生の言動について知らせる電話が入った。

(1) X先生のどのような行為が体罰や不適切な行為にあたるのでしょうか。

(2) X先生は、なぜ、体罰や不適切な行為を行ったのでしょうか。

(3) どのようにすれば体罰や不適切な行為を防ぐことができるのでしょうか。

※ 「体罰は、しない・させない」ようにするには、どのようにすればよいのでしょうか。

※ 「体罰は、必要ない」指導とはどのようなものなのでしょうか。

## 【事例10】部活動

A中学校には、剣道の技術指導ができる先生がおらず、Xさんに外部指導者として指導を依頼した。顧問のY先生は、部活動には消極的で、休日の部活動指導をほとんどXさんに任せている状態であった。剣道経験者であるが、生徒への指導は初めてであるXさんは、「最初が肝心」との思いから、剣道の技術を教える前に、厳しく礼儀作法から指導していた。そんな折、生徒から「早く剣道をしたい。」等の不満の声が上がった。Xさんは、「お前たちに剣道をする資格はない。」と怒鳴り、全員の頭を竹刀で軽く叩き、一時間正座させた。次の日、剣道部員の保護者から校長に、「Xさんを指導者から外せ。」という電話が入った。

(1) Xさんのどのような行為が体罰や不適切な行為にあたるのでしょうか。

(2) Xさんは、なぜ、体罰や不適切な行為を行ったのでしょうか。

(3) どのようにすれば体罰や不適切な行為を防ぐことができるのでしょうか。

※ 「体罰は、しない・させない」ようにするには、どのようにすればよいのでしょうか。

※ 「体罰は、必要ない」指導とはどのようなものなのでしょうか。

## 【事例11】部活動

A高校野球部は甲子園出場の常連校で、監督であるX先生は生徒からも信頼されていた。生徒は、「この監督の言うことは絶対だ。監督についていけば、必ず甲子園に俺たちを連れて行ってくれる。」と信じ、保護者もX先生に全幅の信頼を寄せていた。公式戦間近のある日の練習試合で、チームの中心選手であった生徒Bは好機で再三バントミスを繰り返した。試合中、下を向いてうなだれている生徒Bに対して「お前がそんな態度を見せてどうするんだ。チームの士気に関わるだろ。」と言って、生徒Bの頬を一回平手打ちした。

生徒Bはその後も試合に出てプレーをし、気を奮い立たせたかのように好プレーを連発し、チームは逆転勝ちを収めた。試合後に、X先生は生徒Bに、「ナイスプレーだったな。さっきはお前のバントミスを叱ったんじゃない。チームを引っ張る立場のお前があんな腐った態度を取っちゃいけないだよ。また、しっかりとチームを引っ張っていってくれ。」と、フォローの言葉をかけた。生徒Bが何も言わなかったので、X先生は生徒Bが納得したと思い、生徒Bの保護者にも管理職にもこのことを伝えなかった。

(1) X先生のどのような行為が体罰や不適切な行為にあたるのでしょうか。

(2) X先生は、なぜ、体罰や不適切な行為を行ったのでしょうか。

(3) どのようにすれば体罰や不適切な行為を防ぐことができるのでしょうか。

※ 「体罰は、しない・させない」ようにするには、どのようにすればよいのでしょうか。

※ 「体罰は、必要ない」指導とはどのようなものなのでしょうか。